

会議名称：令和元年度8月期古賀市社会教育委員の会議
日 時：令和元年8月27日（火） 19時～21時00分
場 所：リーパスプラザこが 交流館103会議室
主な議題：「第6回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について
傍聴者数：なし
出席者：松本委員、平島委員、角森委員、村山委員、井浦委員
橋爪委員、丸井委員、秋山委員
（以上委員8名）
村上参事補佐、小嶋、森田
欠席者：國友委員
事務局：生涯学習推進課社会教育振興係
配布資料：レジュメ等
会議内容：以下のとおり

松本議長：

ただいまから8月の社会教育委員の会議を始めたいと思います。本日は、國友委員が欠席です。

今日は笑顔のつどいについて、最終確認をいたします。事務局からも具体的な提案をいただきながら、皆さんと協議を深めたいと思います。

本日は協議事項の前に、「3. その他」について報告をいただきたいと思います。それでは事務局からお願いします。

（事務局より八女地区社会教育委員連絡協議会視察受け入れ、福岡ブロック研修会、社教情報の購入について連絡）

松本議長：

この件についてご意見はありませんでしょうか。視察の前にはリハーサル等も行う必要がありますので、この会議終了後に、当日参加いただける委員のみなさんには残っていただき、打ち合わせをしたいと思っています。

それでは「2. 協議事項」に移ります。「第6回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について事務局から提案をお願いします。

事務局：

最初に、前日および当日のタイムスケジュールについて確認をさせていただきます。前日についてですが、13時になりますと全体会および分科会の部屋を開放いたします。分科会のリハーサルをしていただいた後に全体会会場である多目的ホールへ集合していただき、会場設営に着手したいと考えております。なお、15時30分からは同会場において古賀中学校吹奏楽部によるリハーサルが実施されますので、そ

の時間は当日の配布物について確認する時間にいたします。また、終了後には全体会の通しを行います。

松本議長：

分科会のリハーサルにつきましては、14時を目安に終了していただき、多目的ホールに集合していただきますようお願いいたします。それでは次に、当日のスケジュールの確認に移ります。

(当日の各委員の役割及びタイムスケジュールの確認。)

平島委員：

全体会発表終了後に分科会会場への移動時間ですが、実際には7～8分程度になるかと思われます。挨拶や各発表の時間の管理が重要になりますね。

事務局：

それでは次に、多目的ホールの配置図をご覧ください。最初にNo.1と書いてあるものを前日の段階でくみ上げます。ここに古賀中学校吹奏楽部の方が入られたところで、前後のバランス等を見ていきたいと思えます。その後のセッティング変更ですが、発表者の机や発表時に使用する機材の運搬等が必要となりますので、平島委員と村山委員にもご協力いただきます。

松本議長：

発表者の実践報告を受けて井浦委員には助言者として説明をしていただきますので、発表者に向かい合う形でステージ上に助言者席を設ける必要がありますね。

角森副議長：

吹奏楽部用のイスは何台用意しましょうか。

事務局：

3台必要になります。ですので、使用后、発表者と助言者用のイスはステージ上に残す形になります。それでは最後に司会進行表の確認に移ります。

(司会進行表の最終確認。)

井浦委員：

すいません、7ページの内容についてです。今回加藤さんに子どもの生活満足度と地域とのかかわりという内容で実践発表をしていただきますが、この研究自体は西南学院大学大学院人間科学研究科の研究生という立場で実施されていると思えます。確かに加藤さんは星の子文庫の代表も務められていますが、ここでの紹介につきましては、星の子文庫としてこのような研究を行ったと誤解が生じないように紹介する

必要があると思います。

事務局：

再度確認いたします。

続きまして、各分科会における使用物品の確認をいたします。

(各分科会における使用物品の確認。数量調整も同時に行う。)

松本議長：

それでは当日の確認も終わりましたので、ここで井浦委員より助言者としての説明内容について報告をいただきます。

井浦委員：

前回の加藤さんによる発表内容を振り返りながら、10分間でどのようなことを伝えられるかということで案を作成してまいりました。細かい内容につきましては、再度加藤さんと協議する必要がありますが、このようなまとめをしてはどうかと考えているところです。最初に趣旨に触れながら、調査結果からということで成果および課題について解説いたします。その後、地域においては様々な活動が実施されているということに触れ、さらには子どもの地域における居場所について思考が向くように誘導していきます。ここで居場所とは何かということになりますが、この子どもの居場所には、加藤さんの話にも出てきます時間や空間や仲間があるといったことに触れつつ、古賀市内で実際に子どもの居場所づくりのために実施されている活動も例示していきます。その中で、皆さんがそれぞれの立場で参加したいあるいは子どもを参加させたいきっかけづくりにはどうでしょうかということ、分科会への案内に移ろうかと考えております。加藤さんの研究結果から、研究対象としたのは古賀市内の小学6年生ですが、実際にはこれまでの生活や体験がもととなってこれらのデータが得られたと考えることができます。つまり、連続した生活の中での経験というものが、今このような結果として表れているんですよということを伝えようかと思います。

松本議長：

子どもたちが安心して、自分たちを飾ることなくふるまうことができる、そしてそれにかかわる大人の方々も自分自身にとっての、生きがいづくりになるということに気が付くような助言になることを期待しております。

それでは次に、事務局で作成していただきましたオープニング映像の確認をいたします。

(オープニング映像の確認。各委員より修正箇所を提案いただく。)

それでは協議事項は以上になります。副議長から閉会の挨拶をお願いします。

角森委員：

皆さんお疲れ様でした。